

# JR30年を問う！市民シンポジウム

# 国労水戸

## 分割・民営化の検証

3月28日、衆議院議員会館内でJR30年を問う！市民シンポジウムを開催した。会場には200名が参加し、30年の検証と今後の鉄道のあり方について行われた。

主催者を代表して、坂口委員長より国鉄分割民営化から30年を迎え、JR会社の格差持続、可能な交通体系を維持する為にJR体制の検証と見直しが求められていると挨拶を受け、国会議員方々より紹介し挨拶をした。第1部は「地域の持続性と鉄道の役割」として交通権学



道の役割」として交通権学会の上岡直見会長より10点の論点について基調講演を受けた。

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
E N Yビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 塚原良雄  
編集責任者 坂下 司



第2部のパネルディスカッションでは北海道教育大学の宮田教授をコーディネーターに、数名のパネラーから、「海外の鉄道改革とJR30年の示唆」「利用者の権利は守られているか」「旧国鉄債務はどうなったのか」「駅利用者の安全についてどうなったのか」いろいろな角度から分割・民営化後の検証、今後の鉄道輸送について提言の報告があった。

技術（たぎ）と  
魂（たま）と  
運動を

### 休日 35条 (その1)

毎週少なくとも1日の休日か、4週間を通じて4日以上の日を与えなければならない。

JR東は変形労働時間制をとっているため特定4週としてJR発足時から勤務明示に線が引いてある。(就業規則59条)

毎週1休日の例



4週4休日の例



4週4休日を採用する場合、就業規則などにより4週の起算日を明らかにし、また出来る限り休日は特定してください。